

8・19演説会&デモ

安倍首相の9条改憲 ストップ！
市民と野党の共闘で安保法制廃止へ！



7月の参議院選挙で、立憲野党と市民が共同し、安倍首相の最大の政治目標であった、憲法改悪に不可欠な3分の2の議席の確保を阻止しました。これは改憲に固執する安倍政権への重大な審判です。立憲野党と連携した全国の市民運動のたたかひの結果であり、この間ともに立ち上がったすべての皆さんの連帯がもたらしたものです。

3000万署名、京都で44万筆、全国の市民の改憲NO！の運動が世論をつくり、野党の共同を後押しする力となって、安倍政治に立ち向かいました。

選挙後早速、安倍首相は改憲への執念を声高にし、東北アジアでの緊張をことさら強め、ホルムズ海峡での「有志国連合」へ米国から参加要請されています。

引き続いて安倍政権の悪政と対決し、連帯できるすべての人々と共同して、安倍首相の改憲策動ストップ、戦争する国を許さない世論づくりへ、声をあげましょう。

とき **8月19日（月）**

午後 6時30分～ 街頭演説

午後 7時～ デモ出発（四条河原町まで）

ところ 京都市役所前（御池通側歩道）

呼びかけ 戦争をさせない京都1000人委員会